

2022年度
ロシア地域学科
4年生 シラバス

目次

実務経験のある 教員	科目名	担当者名	ページ
	実用ロシア語会話	イリイナ・ソフィア	1
☆	実用ロシア語文法(前期)	イリイン・ロマン	2
☆	実用ロシア語文法(後期)	デルカーチ・フョードル	3
☆	ロシア語演習	鳥飼 やよい	4
	ロシア語講読	イリイナ・ソフィア	5
☆	通訳翻訳演習(前期)	イリイン・セルゲイ	6
☆	通訳翻訳演習(後期)	イリイン・ロマン	7
	英語	ウィリアムズ・マイケル	8
	ロシア文学史	スレイメノヴァ・アイーダ	9
	哲学	倉田 有佳	10
	体育	小林 礼	11
☆	ゼミナール ビジネスロシア語	イリイン・セルゲイ	12
	論文作成	倉田 有佳	13

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイナ・ソフィア
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期106時間（週2, 3コマ）総170時間		
授業概要・学習到達目標			
高度なロシア語による会話・筆記ができるようにする。			
評価方法			
小テスト、中間テスト、期末試験、年末試験			

授業計画・内容	
【前期】	
1～16	第16課 言葉を覚え、使い方の練習をする。（各課共通） テキスト(«Прогулка по Тверской», «Немного о Петербурге», «Рассказ Петры», «Рассказ Карлоса об экскурсии в Кремль», «О лице и лицеистах») 会話の練習（各課共通）、定動詞と不定動詞の活用
17～31	第17課 テキスト(«Рецепт врача», «Учитель и судья», «Последняя квартира А.С. Пушкина», «Маша и медведь») 定動詞と不定動詞、接頭辞の活用、集合数詞の活用
32	まとめ
【後期】	
1～15	第18課 テキスト(«М.В. Ломоносов и «Российская грамматика», «Учитель учителей», «Семья Рубининых», «Новое платье короля», «Замоскворечье») 名詞の語結合、再帰動詞、否定代名詞
16～28	第19課 テキスト(«Олимпийские игры», «Дом-музей Чайковского в Клину», «Почему Америка названа Америкой») 能動形動詞と被動形動詞、形動詞構文 日常生活・政治・ビジネス・文学など様々なテーマでの会話をできるようにする。
29～40	第20課«Разрушенная Герника», «О Петре Великом», «Первый международный конкурс имени П.И. Чайковского», «Из истории Олимпийских игр») 主格と体格の関係、能動態および受動態、不定人称文、短語尾形
41～53	第21課 テキスト («Гибель Архимеда», «XX век») 副動詞、譲歩表現、動詞的名詞
教科書・参考書・資料・参考文献	
「ロシア語の新しい習い方」（第2・3部）ズラトウスト出版社・2000年発行 プリント配布	
「ロシア語の新しい習い方」（第2・3部）対応基本語彙集	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）		
授業概要・学習到達目標			
より高度なロシア語の文法を学ぶ。同時により複雑な語彙、表現法、構文やロシア語のスタイルスティックスを学び、ТРКИ 2級合格、国家試験（卒業試験）の合格を目指す。			
評価方法			
各課テストと前期期末試験			

授業計画・内容

【前期】	
1	ガイダンス
2～4	能動と受動構造（不完了体）
5～7	能動と受動構造（完了体）
8～9	能動形動詞（現在形・過去形）
10～11	被動形動詞（現在形・過去形）
12～13	-ся 動詞
14～16	運動動詞定動詞、運動動詞不定動詞
17～19	接頭辞付き運動動詞（自動詞）、接頭辞付き運動動詞（完了）、接頭辞付き運動動詞（他動詞）
20	接頭辞付き運動動詞（不完了）
21	動詞の体。完了体・不完了体の不定形の用法
22	完了体・不完了体の否定文
23	完了体・不完了体の命令形
24	単文と複文における完了体・不完了体の用法
25～26	完了体・不完了体の接頭辞の用法
27～28	副動詞
29	因果関係を表す表現
30	譲歩構文、条件法
31～32	まとめ、テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
Продолжаем изучать русский ロシア語出版社 2003 年 「ロシア語の新しい習い方」（第2・3部）ズラトウスト出版社 2000 年 配布プリント	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期80時間（週2コマ）		
授業概要・学習到達目標			
より高度なロシア語の文法を学ぶ。同時により複雑な語彙、表現法、構文やロシア語のスタイルスティックスを学び、ТРКИ 2級合格、国家試験（卒業試験）の合格を目指す。			
評価方法			
各課テストと前期期末試験			

授業計画・内容	
【後期】	
1	第18課動詞派生の名詞イントロ
2～3	動詞派生の名詞 名辞文の構文「時間系列」「理由」「目的」「条件」「譲歩」
4	-ся 動詞「再帰 мыться」「行為の相互性 встречаться」
5	-ся 動詞「人/物の状態の変化 увеличиваться」
6	-ся 動詞「Ей не спится. 等の表現」
7	-ся 動詞「興味」「感情 восхищаться」「行為の実現の様々な段階 осуществляться」
8	-ся 動詞「行為の終わり・始まり」等
9	第18課総復習
10	復習テスト 第19課形動詞イントロ
11～14	能動形動詞 現在・過去
15～18	被動形動詞 現在・過去
19	受動態の文 быть + 短尾形被動形動詞
20～21	形動詞総復習
22	復習テスト 第20課能動と被動の関係イントロ
23	完了の被動と不完了の被動
24～25	不定人称文と無人称文（1）（2）
26	被動態と複文の関係について
27～28	第20課総復習
29	復習テスト 第21課副動詞イントロ
30～31	不完了の副動詞構文「時間」「理由」「条件」「譲歩」
32～33	完了の副動詞構文（1）（2）
34～35	副動詞総復習（1）（2）
36～38	4年文法総復習（1）～（3）
39	後期のまとめ
40	後期テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
Продолжаем изучать русский ロシア語出版社 2003年 「ロシア語の新しい習い方」（第2・3部）ズラトウスト出版社 2000年 配布プリント	

科目名	ロシア語演習	担当教員	鳥飼やよい
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）・後期40時間（週1コマ）総72時間		
授業概要・学習到達到達目標			
週ごとに世界の政治、経済、ビジネス、社会問題等の最新のロシア語のニュースの聴き取りを行い、ロシア語の聴取力を培う。さらに翻訳を試み、同時に、幅広い語彙やマスメディア独特の表現法を学ぶことでロシア語の総合的な運用能力を高める。また最新の時事問題に親しむことで多様な社会問題に関心を持つきっかけとする。 加えて、学期中に2つの必須ロシア映画を鑑賞することとする。			
評価方法			
毎週のニュースの翻訳提出、単語テスト、学期末テストの他に授業参加の総合評価とする。 課題提出10%、単語テスト10%、学期末テスト80% 5（88-100%）、4（77-87%）、3（66-76%）、2（-65%）			

授業計画・内容	
【前期】	
週	内容
1	イントロダクション
2-6	ワールドニュースロシア
7-9	映画1
10-15	ワールドニュースロシア
16	総復習
【後期】	
1-10	ワールドニュースロシア
11-13	映画2
14-19	ワールドニュースロシア
20	卒業試験のための総復習
教科書・参考書・資料・参考文献	
随時プリントを配布する。	

科目名	ロシア語講読	担当教員	イリイナ・ソフィア
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）・後期40時間（週1コマ）総72時間		
授業概要・学習到達目標			
前学年の「ロシア語講読」に引き続き、教科書を用いて、まとまったテキストを正確に読解して、語彙の増強とともに、コミュニケーション能力育成の観点から、内容に関する質疑応答ができ、ロシア語力を向上させることを目指す。			
評価方法			
試験、テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～3	テキスト1《対照的な人間》
4～5	テキスト2《アルフレッド・ノーベルとノーベル賞》
6～7	テキスト3《ノーベル賞を受賞する方法》
8	テスト1
9～10	テキスト4《秋の出会い》
11～13	テキスト5《克服》
14～15	テキスト6《ドミトリ・メンデレーエフ》
16	テスト2
【後期】	
1～2	テキスト7《緑の十字架》
3～4	テキスト8《学者の見解》
5～6	テキスト9《愛と科学》
7	テスト1
8～9	テキスト10《ヴェルディの音楽》
10～11	テキスト11《1cc分の希望》
12～13	テキスト12《チャーホフ》
14	テスト2
15～20	フォードル・M・ドストエフスキー《白夜》
教科書・参考書・資料・参考文献	
ツァリョーバ他著 「ロシア語の勉強を続けましょう！」 ロシア語社発行、2002年 フォードル・M・ドストエフスキー《白夜》	

科目名	通訳翻訳演習	担当教員	イリイン・セルゲイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期64時間（週2コマ） 総64時間		
授業概要・学習到達目標			
日本語・ロシア語への訳出に求められる必要な知識、文法、用語を習得するため、教科書のほか、ロシア事情に関わるテキスト、新聞・インターネット記事を読み、ロシアのビデオニュースを聞き、通訳・翻訳の学習を行う。			
学習上の留意点			
1. 十分な予習時間がとれることが授業での効果的な勉強の条件になる。 2. 練習問題や小テストなどによって内容・理解度・到達度をチェックする。			
評価方法			
試験と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～2	第21課 <ロシア語訳> ロシア文学
3	時事テーマ
4	復習、小テスト
5～7	第22課 <ロシア語訳> 友好の船
8	時事テーマ
9	復習、小テスト
10～12	第23課 <ロシア語訳> サンボの忘れられた」ページ
13	時事テーマ
14	復習、小テスト
15～17	第24課 <ロシア語訳> ロシアのサンボの父
18	時事テーマ
19	復習、小テスト
20～22	第25課 <日本語訳> Что такое русская кухня.
23	時事テーマ
24	復習、小テスト
25～27	第26課 <日本語訳> Воспоминания о Красной площади.
28	時事テーマ
29	復習、小テスト
30～31	第27課 <日本語訳> Полный карман денег или в кармане пусто.
32	まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
イリイン・セルゲイ著 “Практика перевода（通訳・翻訳演習）”。極東連邦大学函館校発行、2016年。プリント類（随時）。	

科目名	通訳翻訳演習	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期80時間（週2コマ） 総80時間		
授業概要・学習到達目標			
前学年の「通訳翻訳の演習」に引き続き、ロシア語への訳出に求められる必要な知識、文法、用語を習得するため、日本語のテキストをロシア語に翻訳し、ロシアのビデオニュースを聞き、通訳・翻訳の学習を行う。			
評価方法			
試験、テストと出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【後期】	
1	ガイダンス
2～4	<ロシア語訳> テキスト1 五木寛之「みみずくの夜メール」
5	小テスト1
6～9	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
10～12	<ロシア語訳> テキスト2 三谷幸喜「三谷幸喜のありふれた生活」
13	小テスト2
14～17	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
18～20	<ロシア語訳> テキスト3 森博嗣「正直に語る100の講義」
21	小テスト3
22～25	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
26～28	<ロシア語訳> テキスト4 五木寛之「みみずくの夜メール」
29	小テスト4
30～33	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
34～36	<ロシア語訳> テキスト5 三谷幸喜「三谷幸喜のありふれた生活」
37	小テスト5
38～40	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
教科書・参考書・資料・参考文献	
五木寛之 「みみずくの夜メール」 朝日新聞社、2003年 三谷幸喜 「三谷幸喜のありふれた生活」 朝日新聞社、2006年 森博嗣 「正直に語る100の講義」 大和書房、2016年、そのほかビデオ、プリント類	

科目名	英語	担当教員	ウィリアムズ・マイケル
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	4年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期80時間（週2コマ）総144時間		
授業概要・学習到達到達目標			
<p>コースの目的は、英語のテキストを読み、理解し、さらに話し書く技能の基礎を修得し、様々な状況に応じて英語での意思疎通を可能にすることにある。従って学生は、①アメリカ英語とイギリス英語を聞いて理解する。②一般科学、ビジネス等のテキストを読む。③日常、社会、一般科学、ビジネス等のテーマについて話す。④ビジネス関連の手紙を書く。⑤社会、一般科学、ビジネス等のテーマについての文章を書く等の技能の習得を目指す。</p>			
評価方法			
small tests and exams, assignment submissions, participation in class, and attendance			

授業計画・内容	
【前期】	
1~5	Module 1: World of work, Personal and professional details, Reading short texts
6~10	Module 2: Work in progress, Making arrangements, Writing internal communications
11~15	Module 3: Company biography, Company performance, Listening: Short extracts
16~20	Module 4: International business, Business communications, Speaking:
21~25	Module 5: Career choices, Achievements and plans, Reading: Matching
26~31	Module 6: Business Travel, Travel arrangements, Writing: Internal communications
32	テスト
【後期】	
1~6	Module 7: Products and services, Orders and contracts, Listening: Telephone conversations
7~13	Module 8: Manufacturing processes, Problems and solutions, Giving a short talk, Discussion
14~20	Module 9: The future, Meetings, Reading: Scanning
21~26	Module 10: Career development, Organizing a conference, Writing: Letters and emails
27~31	Module 11: Health and safety, Reporting accidents, Listening: Building vocabulary
32~39	Module 12: The job market, Job applications, Reading: Sentence structure
40	テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
Total Business 1, Rolf Cook/Mara Pedretti, Cengage (Summertown Publishing), 2009	

科目名	ロシア文学史	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期14時間（全7回）	総時間数14時間	
授業概要・学習到達到達目標			
20世紀のロシア文学史（詩と小説） ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。授業は教科書（PDF ファイルの電子資料；プリント）に沿って進めるので教科書（プリント）を必ずもってくる。授業で積極的な態度を表すこと。授業の最後にメモを書くこと。習ったことを自宅で少しでも復習すること。			
評価方法			
試験、小テスト、宿題（Google Forms）の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	未来派（フチュリズム）。マヤコフスキー（『ズボンをはいた雲』、『これについて』）；農民の詩。エセーニン。
2	20世紀の小説。ブルガーコフの人生と作品。『白軍』、『巨匠とマルガリータ』、『犬の心臓』
3	社会主義的なリアリズムと批判的な文学。ノーベル賞とロシアの作家。ショーロホフの『静かなるドン』。
4	亡命人の文学。ブーニン、ナボコフの作品。
5	パステルナークの人生と作品。若い時代の詩；『ドクトル・ジバゴ』。
6	1960年代の詩（ヴォズネセンスキー、エヴトウセーニコ、アフマドゥーリナ；オクジャワ）；ワシリー・シュクシーンの散文と劇作。
7	ウラジーミル・ヴィソーツキーの詩と歌。復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
各著者の原作からの抜粋 （PDF ファイルの電子資料；プレゼンテーション；随時プリント類）	

科目名	哲学	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期14時間（全7回） 総14時間		
授業概要・学習到達目標			
①教養としての「哲学」を身に着けると共に哲学用語のロシア語を知る。 ②ロシア・ソヴィエト時代の哲学・思想を知り、ロシア・ロシア人に対する理解度を深める。 ③「哲学」を学ぶ今日的意味を考える。			
評価方法			
出席（30%）授業態度（20%）試験（50%）			

授業計画・内容	
【前期】※3年次実施の分も含む	
1	ガイダンス
2	教養としての哲学 ①哲学の始まり、創成期の哲学
3	教養としての哲学 ②古代哲学：古代ギリシア人の精神
4	教養としての哲学 ③古代哲学：アテナイ期の哲学
5	教養としての哲学 ④中世哲学：キリスト教とスコラ哲学
6	教養としての哲学 ④近世哲学：17世紀の哲学（デカルト）から啓蒙時代の哲学（ライプニッツ）へ
7	教養としての哲学 ⑤カント
8	18世紀のロシアの思想①フリーメイソン、ラジーシェフ
9	19世紀のロシアの思想② スラヴ派
10	19世紀のロシアの思想③ 西欧派、革命的民主主義思想
11	ロシアにおけるナロードニキ、ナロードニキと日本
12	ユーラシア主義、道標派、インテリゲンツィア、建神主義
13	ソヴィエト時代の哲学の確立と普及 ①
14	ソヴィエト時代の哲学の確立と普及 ②
15	哲学の今日的解釈、哲学を学ぶ意義を考える
16	復習、まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
プリント配布（随時）。参考書：岩崎武雄『西洋哲学史（再訂版）』有斐閣（初版1952年）。桑野隆『20世紀ロシア思想史 宗教・革命・言語』岩波書店（岩波現代全書）、2017年。森宏一『ロシア思想史』同時代社、1990年。セルゲイ・レヴィーツキイ（訳高野雅之）『ロシア精神史 哲学と社会思想の流れ』早稲田大学出版部、1994年。	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、スポーツに関する課題を発見し、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	オリエンテーション	1	体づくり運動④ 体力を高める運動 ウォーキング
2	体づくり運動① 体ほぐし運動	2	体づくり運動⑤ 体力を高める運動 登山
3	体づくり運動② 体力を高める運動 縄跳び	3	球技 ①ゴール型 サッカー
4	体づくり運動③ 体力を高める運動 登山	4	球技 ②ゴール型 サッカー
5	器械体操 マット運動	5	球技 ③ゴール型 サッカー
6-9	球技 ①～③ネット型 バレーボール	6-7	器械運動 ①跳び箱
10-12	球技 ①～③ゴール型 バスケットボール	8-10	球技 ①ネット型 バレーボール
13-15	球技 ネット型 バトミントン	11	ダンス ①リズムダンス
16	実技試験	12	ダンス ②リズムダンス
		13	ダンス ③リズムダンス
		14	体づくり運動⑥ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
		15	体づくり運動⑦ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
		16	体づくり運動⑧ スケート
		17	体づくり運動⑨ スケート
		18	体づくり運動⑩ スケート
		19	まとめ
		20	実技試験
教科書・参考書・資料・参考文献			
使用しない			

科目名	ビジネスロシア語	担当教員	イリイン・セルゲイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
ビジネスロシア語の翻訳・通訳することが出来る水準に達するための練習。 授業は教科書に沿って進めるので教科書を必ず持ってくる。授業で積極的な態度を表すこと。 習ったことを自宅ですしでも復習すること。			
評価方法			
試験、小テスト、出席率、授業態度、提出物全ての総合評価で判断する。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
1～2	ビジネスレターの種類
3～4	要求レター
5～6	連絡・通知レター
7～9	招待状
10～11	感謝レター
12	送り状
13	引用構文
14～16	前期のまとめとテスト
【後期】	
1	確認レター
2	引き合い
3	デリバリー条件
4～5	引き合いに対する返事
6～7	オファー
8～10	契約書
11～12	アデンダム
13～14	注文書
15～17	プロトコル
18～19	後期のまとめ
20	全体のまとめとテスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
1. イリイン・セルゲイ著「ビジネスロシア語」 ロシア極東国立総合大学1999年、 2. K.A. SHILOVA 著「ビジネスマンの電話での話」 モスクワ1993年 及び担当者作成の配布資料	

科目名	論文作成	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ） 後期80時間（週2コマ） 総112時間		
授業概要・学習到達目標			
卒業論文作成を最終目標とし、それに向けて、問題設定・課題の解決方法を学び、論理的思考に基づき論文を完成させる。論文執筆の過程で、資料収集方法、課題解決能力やプレゼンテーション能力を身に付ける。			
評価方法			
出席（20％）卒業論文（50％）卒業論文プレゼンテーション（30％）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス（各自学年論文持参）、卒業論文テーマの検討
2～3	卒業論文テーマの検討、参考文献の調査
4	先行研究の調査、文献目録の作成について（ガイダンス）
5	文献目録作成
6	卒業論文テーマ決定、提出
7	目次作成について（ガイダンスと実践）
8	章立てについて（ガイダンスと実践）
9	章立ての検討
10	序論作成について（ガイダンスと実践）
11	本論作成について（ガイダンスと実践）
12	脚注の作成について（ガイダンスと実践）
13	指導教官に現時点での進捗状況報告
14～15	論文執筆、中間発表の準備
16	ザチャット週間（中間発表）
【後期】	
1-2	夏休みの成果発表、論文中間発表会、学生同士の評価➡授業終了後、指導教官に進捗状況を報告
3-4	指導教官の助言をフィードバック
5-6	目次作成・完成（授業終了後、指導教官に初稿を提出）
7-8	目次（指導教官から指摘を受けた点を訂正・加筆）
9-16	論文作成
17-18	論文の体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注・参考文献一覧の作成）
19-20	授業終了後、指導教官に初稿を提出
21-22	指導教官から指摘を受けた点を訂正・加筆
23-26	卒論総仕上げ（表紙・ページ打ち・脚注の点検）、（参考文献・表や図の点検）
27-28	授業終了後、事務局経由で指導教官にデータで卒論提出
29-30	指導教官からの指導を受け、指摘を受けた点を訂正・加筆
31-32	最終修正し、授業終了後、事務局に完成版をデータで提出
33-36	序文のロシア語作成
37-39	卒業論文審査会の発表準備
40	卒業論文審査会（3月）
教科書・参考書・資料・参考文献	
使用しない	